

# 人形供養祭のご報告

昨年11月10日、清々しい秋晴れの中、人形供養祭を執り行いました。はるかの人形供養祭はこれで4回目。今年ははると提携している、パルシスティム埼玉の組合員様にもご案内し、前回を上回る約700体ものお人形たちが集まりました。

雛人形・五月人形を始め、歴史を感じるような人形や、愛らしいぬいぐるみなど、皆さまと共に長い年月を過ごし、思い出が沢山詰まつた大切な人形をお預かりさせて頂きました。

家族の成長を長年見守ってくれた。癒やしや勇気を与えてくれた。一緒にいると安心する、とても大切な存在。

手放すのは辛い、別れるのは悲しいけれど、この機会に丰チンとご供養出来るのなら…と、断腸の想いでお持ちになられた方も大勢いらっしゃいました。

別所にある真弘寺の住職と副住職のお二人によるご読経を賜り、厳粛に供養させていただきました。ご参加頂けなかつた方には後日、ご供養証明書をご送付致しました。

印象的だったのは、ご住職の法話です。



日本人は昔からあらゆるモノに魂が宿ると考えてきました。お人形はもちろんですが、普段から長年使った物を処分する際も、「今までありがとうございました」という気持ちで処分するだけで、気持ちが違いますと：実際にご住職は普いるんですって。

改めて「感謝する気を感じると同時に、お人形たちも、長年大切にしてくれたことに感謝をしながら、雲一つない快晴の空へと旅立つんだろうなあと思いました。



【編集後記】2023年、新しい一年のスタートです。▼「一期一会」「雨垂れ石を穿つ」「自分に与えられた人生を大事にこつこつと繰り返す」「人生は楽しむ為にある」「幸せはいつも自分の心が決める」「死ぬこと以外かすり傷」読者の皆さまから寄せられた座右の銘：なるほどですね。▼運と言うものは自分で拓くもの。自分のことを運がよい人間だと思うようになれば、きっと自分の思った通りになる。これは、宇野千代さんのお言葉。98歳で旅立たれた千代さんは超ポジティブ思考。▼年齢を重ねればカラダは衰えていく。それは誰にも起こる仕方のないこと。でも精神的には経験を積むことで成熟を育む。そう、人間の心は死ぬ間際まで成長することが出来るのですね。▼目には見えない大切なモノ。人と人との人との縁。出会いが広がることで面白さが増します。人と人との結びつけるのは心です。▼心はプラスに向けましょう。陽気は美德。幸せを決めるのは自分の心です。気持ちの持ちよう、あり方が大事。どんなに細やかでも日々の生活に小さな幸せを見つけること。幸福は幸福を呼ぶといいます。▼干支にあやかってピヨンピヨンと飛躍の年になるといいですね。私は年女、節目の年を迎えます。「はるか」と縁あって勤続16年。気持ちも新たに、自分に出来ることをこつこつと続けていきます。1日1日の積み重ねが1年365日。細やかな幸せを感じる笑顔いっぱいの一年になりますように。▼今年も「はるか」をよろしくお願ひします。

# 令和5年新春号

些細な困りごとから  
もしもの時まで

## 家族葬専門ホール



Funeral space  
葬送空間

運営 武藏浦和会館

 0120-03-0653

336-0022 さいたま市南区白幡 5-4-16  
AX 048-864-0649 <http://www.sougisha.co.jp>

葬送空間はるか

ANSWER

# 注目TOPIC

# 中面●つどい場のお知らせ ひとりごと●人生最後の旅「願いのくるま」 別紙●つどい場前半スケジュール はるかイキイキ通信 vol.5

本年もどうぞよろしくお願ひいたします

代表の小杉です。早いもので令和も5年となりました。年始で皆さま慌ただしいところかと思いますが、出来立てほやほやの、情報誌はるか『新春号』をお届けいたします。

実際にこんなことが起るとは、さぞかし想定外だ。しかし、相次ぐ物価高に増税など、あげればきりがないほど暗くなる話題ばかり……。そんな中、少しだけ日本を明るくしてくれたのが、サッカー日本代表の活躍ですかね。世界の舞台で日本選手が躍動する姿を、眠い目をこすりながら見ていた方も多いかと思います。

そんな激動の年を象徴する漢字は『戦』。そして個人的に毎年楽しみにしている、お寺の掲示板大賞には、「武器を捨て数珠を持つ」という言葉が選ばれました。どちらも戦争に関連しているところに世相を感じます。

皆が平和を望んでいると思うのですが、危うい方に進んでいるように感じる昨今。どうか今年一年が平和で穏やかになるよう祈るばかりです。少しでも明るい話題がありますように……。



